



Revate Agri

農家の月次収支・利益率・支援候補を可視化する政策支援アプリ

作成日: 2026-09-11

成果物イメージ

この企画から生成・実装されるWebアプリや業務システムの完成イメージです。



1ページ要約

一言で

農家の月次収支・利益率・支援候補を可視化する政策支援アプリ

対象ユーザー

小規模農家、自治体の農業政策担当者、農業支援団体

課題

収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。

解決策

月次収支ダッシュボード
利益率の推移
支援必要額の算定
支援候補レビュー
政策シナリオ試算
監査ログ
政策提案用レポート

MVP

月次収支ダッシュボード
利益率の推移
支援必要額の算定
支援候補レビュー
政策シナリオ試算

価格案

価格案を設定してください。

リスク

リスクや運用上の注意が一部整理されています。

次のアクション

農家モデルを作る

企画書品質レビュー

品質スコア: 80 / 100

評価基準

- ・ 対象ユーザーの明確さ: 9/10 - 対象ユーザーは判断できる粒度で書かれています。
- ・ 課題の具体性: 10/10 - 課題は、頻度・金額・業務負荷などの根拠が入るとさらに強くなります。
- ・ 解決策の妥当性: 9/10 - 課題と機能の対応を1対1で説明できると説得力が増します。
- ・ MVPの絞り込み: 5/10 - MVP機能が多めです。初期版は3つ前後に絞ると実装判断が速くなります。
- ・ 差別化: 8/10 - 差別化の軸が見えます。
- ・ 収益性: 4/10 - 価格案や収益モデルを追加すると外部提案に使いやすくなります。
- ・ 実装可能性: 10/10 - 画面・DB・タスクの粒度がそろうほど、実装可能性を判断しやすくなります。
- ・ 販売導線: 9/10 - LP、投稿、提案メールのうち、次の行動が明確な文案を優先してください。
- ・ リスク整理: 7/10 - リスクや運用上の注意が一部整理されています。
- ・ 次のアクション: 9/10 - 次に何をやるか、誰に提案するかを1週間単位で書くと動きやすくなります。

不足情報

- ・ 価格案がない: 初期費用、月額、無料検証のどれで提案するかを決めてください。
- ・ MVP機能が多すぎる: 初期版で必ず必要な機能を3つ前後に絞ってください。

詳細

対象ユーザー

小規模農家、自治体の農業政策担当者、農業支援団体

解決する課題

収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。

機能案

- 月次収支ダッシュボード
- 利益率の推移
- 支援必要額の算定
- 支援候補レビュー
- 政策シナリオ試算
- 監査ログ
- 政策提案用レポート

画面案

- 農家ダッシュボード
- 支援必要額サマリー
- 支援候補レビュー
- 政策シナリオ試算
- 監査ログ
- 提案レポート

DB案

farms, monthly_reports, subsidy_candidates, policy_scenarios, audit_logs, policy_notes

LP文案

農家の経営判断と自治体の支援判断を、同じ数字でつなぐ。

投稿文

農家の月次収支と支援候補が見える化する Revate Agri を企画中です。

提案メール

農業支援施策の判断材料を日次・月次で可視化する小規模実証をご提案します。

実装状況

サンプル企画。MVP仕様の検討段階。

企画分解

企画概要

農家の月次収支・利益率・支援候補を可視化する政策支援アプリ

課題と顧客

小規模農家、自治体の農業政策担当者、農業支援団体

収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。

プロダクト仕様

月次収支ダッシュボード

利益率の推移

支援必要額の算定

支援候補レビュー

政策シナリオ試算

監査ログ

政策提案用レポート

農家ダッシュボード

支援必要額サマリー

支援候補レビュー

政策シナリオ試算

監査ログ

提案レポート

farms, monthly_reports, subsidy_candidates, policy_scenarios, audit_logs, policy_notes

販売と公開

農家の経営判断と自治体の支援判断を、同じ数字でつなぐ。

農家の月次収支と支援候補が見える化する Revate Agri を企画中です。

農業支援施策の判断材料を日次・月次で可視化する小規模実証をご提案します。

実装計画

農家モデルを作る

月次収支入力を作る

支援必要額を算定する

政策シナリオを比較する

監査ログを記録する

PDFレポートを出力する

サンプル企画。MVP仕様の検討段階。

MVPタスク

企画概要

- ・ 対象ユーザーを1つに絞る [未着手]

企画として判断できる粒度まで具体化する。

- ・ 最初の利用シーンを書く [未着手]

企画として判断できる粒度まで具体化する。

- ・ 成功指標を決める [未着手]

企画として判断できる粒度まで具体化する。

課題と顧客

- ・ 顧客セグメントを定義する [未着手]

顧客と課題の対応を検証できる形にする。

- ・ 既存代替手段を調べる [未着手]

顧客と課題の対応を検証できる形にする。

- ・ 課題の強さを確認する質問を作る [未着手]

顧客と課題の対応を検証できる形にする。

プロダクト仕様

- ・ MVP機能を3つまでに絞る [未着手]

実装に着手できる仕様へ落とし込む。

- ・ 主要画面の入力と出力を書く [未着手]

実装に着手できる仕様へ落とし込む。

- ・ 必要なテーブルと項目を決める [未着手]

実装に着手できる仕様へ落とし込む。

販売と公開

- ・ LPのファーストビュー文案を作る [未着手]

見込み顧客が次に取る行動を明確にする。

- ・ 初回投稿文を作る [未着手]

見込み顧客が次に取る行動を明確にする。

- ・ 提案先に送る短いメールを書く [未着手]

見込み顧客が次に取る行動を明確にする。

実装計画

- ・ 最初の1週間の作業を並べる [未着手]

次の開発作業として実行できる単位にする。

- ・ 未決定事項を洗い出す [未着手]

次の開発作業として実行できる単位にする。

- ・ 公開デモまでの完了条件を決める [未着手]

次の開発作業として実行できる単位にする。

SWOT戦略分析

Strengths / 強み

- ・ 小規模農家、自治体の農業政策担当者、農業支援団体の固定情報や判断材料を整理し、収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。を補える。
- ・ 月次収支ダッシュボードを中心に、初期版の価値を説明しやすい。
- ・ 公開ページ、主要画面、問い合わせ・相談導線を小さく始められる。

Weaknesses / 弱み

- ・ 初期段階では顧客検証が不足しやすい。
- ・ 顧客検証や実証結果が入るまでは、機能優先順位の根拠が弱い。
- ・ 価格案や運用体制が曖昧だと、外部提案時に判断されにくい。

Opportunities / 機会

- ・ 小規模農家、自治体の農業政策担当者、農業支援団体が抱える収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。を、短期間のMVPで検証できる。
- ・ 既存代替手段では整理しにくい情報を、専用ページや管理画面として提供できる。
- ・ 最初の顧客セグメントで反応が取れば、近い業種や自治体へ横展開できる。

Threats / 脅威

- ・ 既存のSNS、表計算、予約サービス、業務システムと比較されやすい。
- ・ 導入・更新の手間が大きいと、継続利用されにくい。
- ・ 対象ユーザーや課題が広すぎると、MVPの焦点がぼやける。

クロスSWOT戦略

SO戦略 / 強みで機会を取る

- ・ 小規模農家、自治体の農業政策担当者、農業支援団体の収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。に対して、月次収支ダッシュボードを最初の価値として見せる。
- ・ 固定情報と次の行動を整理し、初回利用で迷わず相談・予約・申請まで進める導線を作る。

WO戦略 / 弱みを補い機会を取る

- ・ 未確定の仕様はMVP機能から外し、最初の利用シーンに必要な画面だけで検証する。
- ・ 顧客検証を追加質問で埋め、提案時に説明できる根拠をそろえる。

ST戦略 / 強みで脅威に対応する

- ・ 既存代替手段との差別化として、月次収支ダッシュボードと運用の簡単さを前面に出す。
- ・ 導入負荷が高いと比較検討で負けるため、初期設定と日常更新を最小限にする。

WT戦略 / 弱みと脅威を避ける

- ・ 最初の公開では収支、補助金、支援候補、政策判断の根拠が散らばり、農家と行政の双方が支援の必要額と優先順位を判断しにくい。に関係する機能だけを残し、複雑な拡張は後段に回す。
- ・ 価格、運用体制、リスク対策が曖昧なまま提案しないよう、外部提出前に不足情報を埋める。